

新たな課題に対応した 総合防災訓練を実施

10月25日、市は地域防災計画に基づいた総合防災訓練を実施しました。市役所に災害対策本部を立ち上げ、指揮命令・情報収集訓練を行うとともに、20カ所の避難所と武蔵野赤十字病院でそれぞれ訓練を実施。市職員、関係機関に加え、一般からの参加者463名を含む、1764名が参加しました。



20カ所で避難所開設訓練

市立小・中学校18校、都立高校2校に、市の初動要員や地域の避難所運営組織などが参集し、一般の参加者とともに避難所を開設。避難者の誘導、建物の危険度判定、災害用トイレの設置、炊き出しなどの訓練を行いました。



メイン会場 第一中学校での訓練

聴覚障害者対応訓練

新規
訓練

手話通訳者や要約筆記などが聴覚障害者に同行。避難した聴覚障害者への情報提供をスムーズに行うための訓練を実施。



ペット(犬)対策訓練

新規
訓練

愛犬を連れて避難する訓練。ペットは動物避難スペースで待機させ、飼い主は避難所開設訓練などに参加。震災時の準備、心構えなどを考える契機に。



避難行動要支援者 対策訓練

新規
訓練

高齢や障害のために、自分で避難することが困難な方に対する安否確認、避難支援の訓練を実施。



防災関係機関連携訓練

家屋からの人命救助、道路をふさぐ障害物の除去、一斉放水訓練などを武蔵野消防署・市消防団・武蔵野警察署が実施。



武蔵野赤十字病院 での医療連携訓練

多数の傷病者を想定したトリアージ訓練や、災害時に設置する医療救護本部による医療コーディネーターの設置・運営や関係機関との情報連絡訓練を行いました。

※トリアージ…けがや病気の緊急度や重症度を判定し、治療などの優先順位を決めること。



さらに安心・安全なまちを目指して



防災課
中村 義明 課長

今年度の総合防災訓練では、聴覚障害者対応訓練など3つの訓練を新たに試行しました。災害発生時にはこれらの訓練の内容も含め、市初動要員とともに避難所運営組織の方を中心に、地域の方々の力で避難所を設置・運営していただくことになります。平時の訓練を含め、ご協力をお願いいたします。